

平成18年度 財務の概要

福岡北九州高速道路公社

目 次

1 . 会計処理の特徴	1
2 . 償還準備金積み立て方式のしくみ	2
3 . 収支状況	3
4 . 営業中道路の収支状況	5
5 . 財務状況	6
6 . 償還準備金の積立状況	8
7 . 料金収入・通行台数・供用延長の推移	9
8 . 供用実績	10
9 . 長期借入金の残高状況	12
10 . 償還計画と実績の対比	13

1. 会計処理の特徴

公社の経理は、地方道路公社法、同法施行規則、福岡北九州高速道路公社会計規程に基づいた会計処理を行っています。
ただし、有料道路事業の特性から次の特徴があります。

有料道路制度の会計の特徴は

有料道路事業は、借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により償還していく制度。
毎年度の『収支差』(収入と費用の差)は全て投下資金(借入金)の償還に充当。

借入金の償還状況を適切に把握するために

福岡北九州高速道路公社は、利益を配当する義務がなく、法人税法の公共法人なので、法人税を課せられたりすることがなく、収支差の全てを償還に充当(配当可能利益や企業会計上の減価償却を行う必要性がない。)
したがって、無料開放を実現するとの観点から借入金の償還状況を会計処理において適切に把握することが重要。

償還準備金積立方式を採用

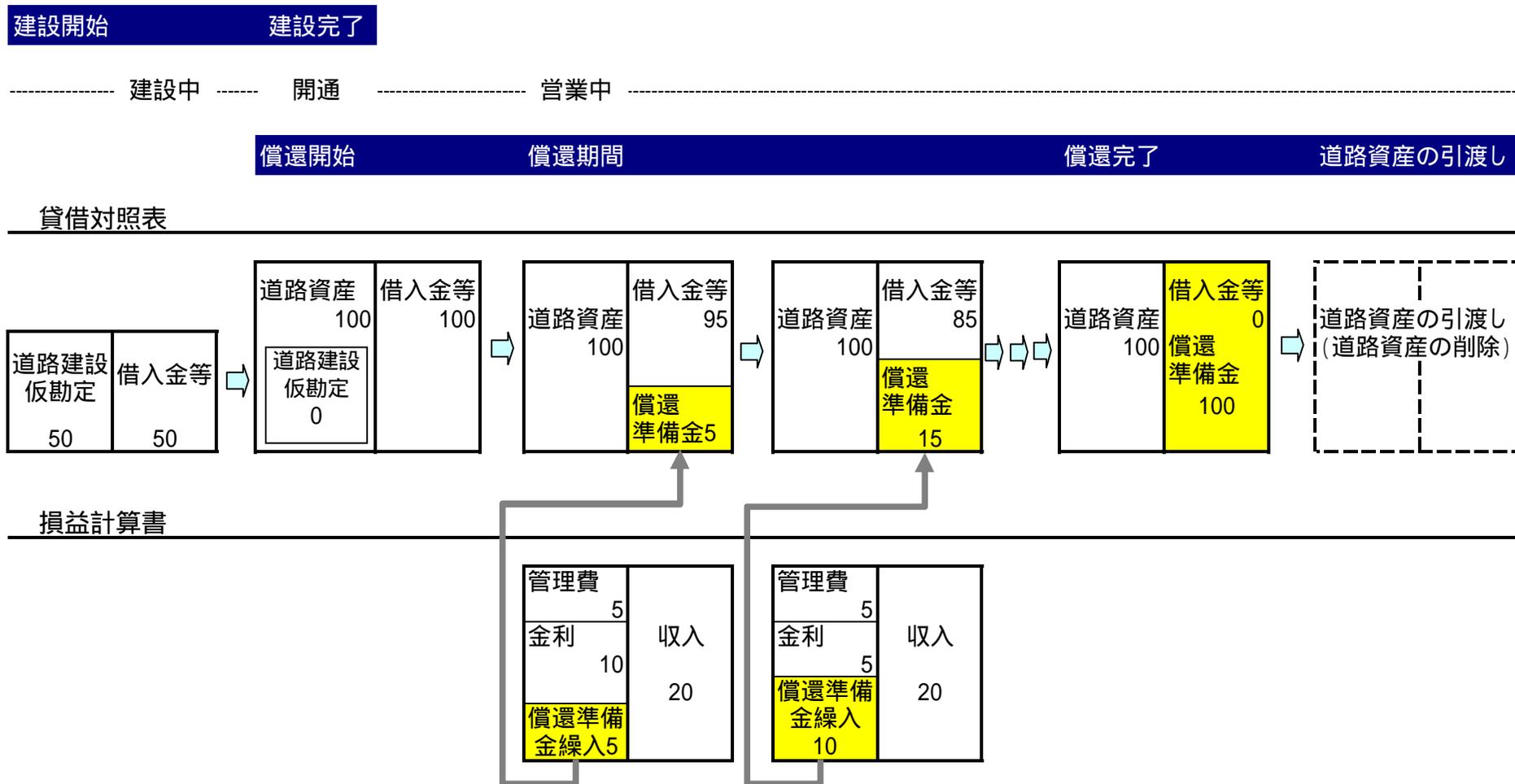
借入金の償還に充てられる各年度の『収支差』を『償還準備金繰入』として費用計上し、その累計額を『償還準備金』として負債に計上する方式を採用。
道路の資産を形成するのに要した費用を積み上げた『道路資産』と借入金の返済に充てる『償還準備金』を対比することにより、償還状況が明確に把握できる。

国及び地方公共団体の支援

整備に要する資金の一部は、計画的な事業執行や安定した償還が可能となるよう国の無利子貸付金や地方公共団体(設立団体)の出資金により構成。
また、民間資金等の借入金については、設立団体である福岡県、福岡市及び北九州市の債務保証が付されている。

2. 償還準備金積立方式のしくみ

会社の貸借対照表と損益計算書にみる償還準備金積立方式のしくみ



3. 収支状況

(1) 福岡高速道路

経常収益は、369億2,100万円(対前年比34億9,300万円の増加)となった。これは主に、新規供用の効果及びETC料金の発生主義への変更によるもの。

一方、経常費用(償還準備金繰入を除く)は、156億3,000万円(対前年比10億5,700万円の増加)となった。

これは、道路管理費(消費税)は増加したものの、金利の低下に伴い業務外費用(支払利息)が減少したことによるもの。

道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、212億9,100万円(対前年比24億3,700万円の増加)となっており、道路の建設に投下した借入金の返済に充当されている。

(2) 北九州高速道路

経常収益は、172億300万円(対前年度比3億9,400万円の増加)となった。これは主にETC料金の発生主義への変更によるもの。

一方、経常費用(償還準備金繰入を除く)は、96億8,900万円(対前年比2億7,800万円の減少)となった。これは主に、道路管理費(消費税)は増加したものの、金利の低下に伴う業務外費用(支払利息)の減少及び道路管理業務の合理化・効率化に努め更なる経費節減を図ったことによるもの。

道路事業における収入から管理費と支払利息等を差引いた収支差である償還準備金繰入は、75億1,400万円(対前年比6億7,200万円の増加)となっており、累積欠損金(マイナスの償還準備金)の解消に充当されている。

平成18事業年度損益計算書 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位:百万円)

費用の部				収益の部			
勘定科目	H18年度	H17年度	増減額 A - B	勘定科目	H18年度	H17年度	増減額 A - B
	A	B			A	B	
経常費用	54,729	50,480	4,249	経常収益	54,788	50,528	4,260
事業資産管理費	9,542	8,755	787	業務収入	54,279	50,375	3,904
福岡高速道路管理費	5,488	4,629	859	道路料金収入	53,913	50,058	3,855
北九州高速道路管理費	3,964	4,046	82	(福岡高速道路)	36,796	33,353	3,443
その他	90	80	10	(北九州高速道路)	17,117	16,705	412
一般管理費	1,054	1,050	4	その他	366	317	49
一般管理費	909	918	9	受託業務収入	467	103	364
その他	145	132	13	負担金事業受入金	2	0	2
引当金等繰入	31,367	28,080	3,287	業務外収益	40	50	10
道路事業損失補填引当金繰入	2,562	2,384	178	受取利息	15	1	14
(福岡高速道路)	1,747	1,588	159	その他	25	49	24
(北九州高速道路)	815	796	19				
償還準備金繰入	28,805	25,696	3,109				
(福岡高速道路)	21,291	18,854	2,437				
(北九州高速道路)	7,514	6,842	672				
受託業務費	467	103	364				
負担金事業費	2	0	2				
業務外費用	12,297	12,492	195				
債券利息	6,107	6,162	55				
借入金利息	5,889	6,037	148				
その他	301	293	8				
当期利益金	59	48	11				
合 計	54,788	50,528	4,260	合 計	54,788	50,528	4,260

語句の説明

費用の部

経常費用

事業資産管理費

道路の維持管理に要する経費

一般管理費

人件費等

引当金等繰入

当該年度の道路事業損失補填金繰入

当該年度の償還準備金繰入

受託業務費

他団体よりの受託業務

負担金事業費

他団体よりの委託業務

業務外費用

道路債券、長期借入金の利息等

当期利益金

駐車場経営に伴う利益金

道路債券、長期借入金の利息等

収益の部

経常収益

業務収入

道路料金収入等

受託業務収入

他団体より受託した業務に充てる収入

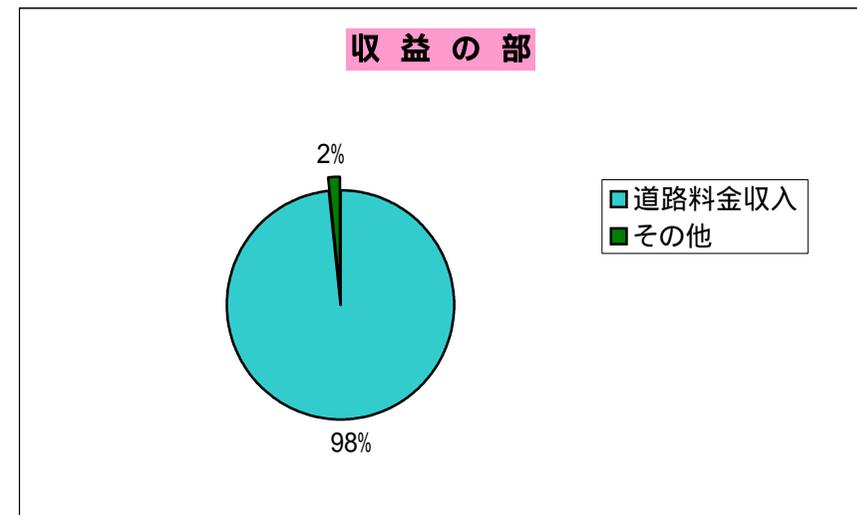
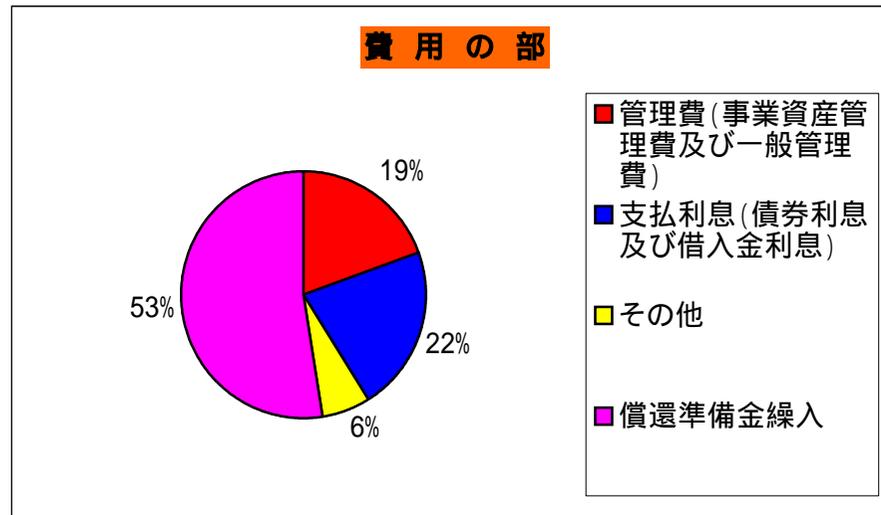
負担金事業受入金

他団体より委託を受けた業務に充てる収入

業務外収益

受取利息等の営業活動以外の収入

損益計算書 円グラフ



4. 営業中道路の収支状況

【福岡高速道路】

(単位:百万円)

	収益 (A)	営業中道路に係る費用(B)					償還準備 金繰入額 (A) - (B)	収支率 (B)/(A) × 100
		道路 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計		
H18	36,921	5,488	548	7,848	1,747	15,630	21,291	42.3%
H17	33,428	4,629	496	7,859	1,588	14,573	18,854	43.6%

【北九州高速道路】

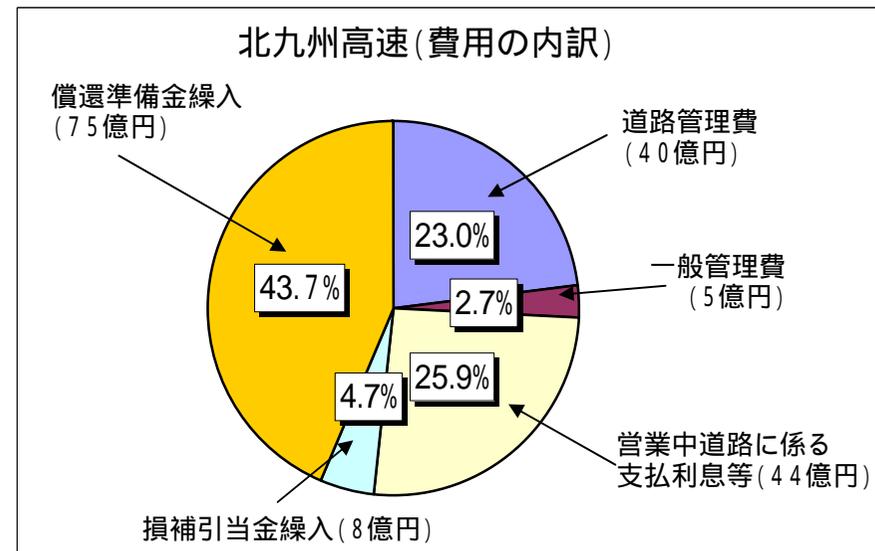
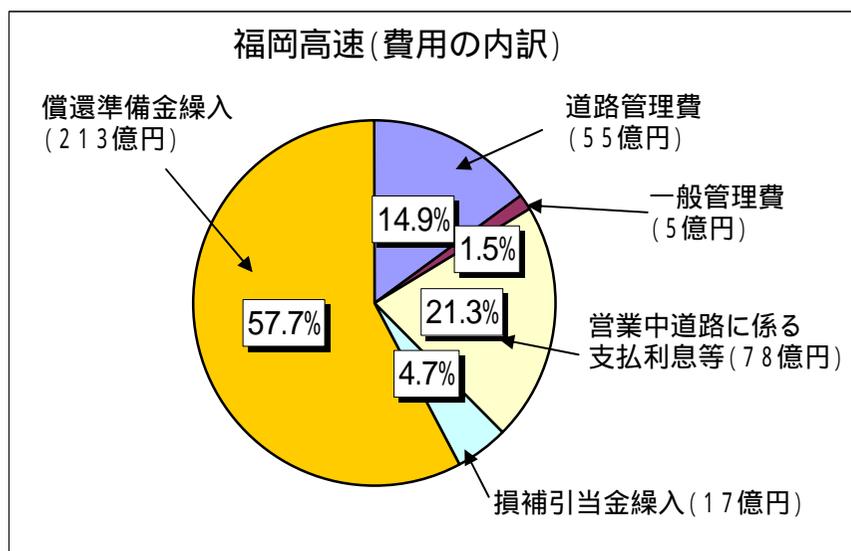
(単位:百万円)

	収益 (A)	営業中道路に係る費用(B)					償還準備 金繰入額 (A) - (B)	収支率 (B)/(A) × 100
		道路 管理費	一般 管理費	支払 利息等	損補 引当金 繰入	計		
H18	17,203	3,964	461	4,449	815	9,689	7,514	56.3%
H17	16,809	4,045	493	4,633	795	9,967	6,842	59.3%

・「償還準備金繰入額」は、営業中道路から生じる毎期の収支差を高速道路の建設・改良に投下した借入金の返済に充てるもので償還準備金に繰り入れられるもの。

・「収支率」は、100円の収入を得るのにどのくらいの費用が必要であったかを示すもの。

(注)各費目において四捨五入しているため、計において合致しない場合があります。



5. 財務状況

(資産の状況)

資産の総額は、1兆1,867億7,300万円となっている。このうちお客様に利用していただいている営業中の道路資産は1兆1,264億6,200万円、工事中道路の道路資産は436億6,700万円となっている。この合計額は、1兆1,701億2,900万円です。全体の99%

(負債及び資本の状況)

負債及び資本の総額は、1兆1,867億7,300万円となっている。主なものは、道路債券などの借入金が8,513億7,900万円、営業中道路の建設・改良に投下した借入金の返済に充てた額(償還準備金)が859億2,700万円(福岡高速977億5,500万円、北九州高速118億2,800万円)、地方公共団体からの出資金が2,043億600万円となっている。

平成18事業年度貸借対照表 (平成19年3月31日現在)

(単位:百万円)

資 産 の 部				負 債 及 び 資 本 の 部			
勘 定 科 目	H18年度	H17年度	増減額	勘 定 科 目	H18年度	H17年度	増減額
	A	B	A - B		A	B	A - B
流動資産	12,938	9,280	3,658	流動負債	12,271	8,199	4,072
固定資産	1,172,767	1,144,739	28,028	固定負債	851,379	859,746	8,367
事業資産	1,126,462	1,116,453	10,009	福岡北九州高速道路債券	328,019	316,337	11,682
福岡高速道路	768,673	764,093	4,580	長期借入金	514,655	534,797	20,142
北九州高速道路	357,789	352,360	5,429	退職給与引当金	1,741	1,735	6
事業資産建設仮勘定	43,667	25,611	18,056	ETCマイレージ引当金	75	0	75
福岡高速道路	43,667	25,611	18,056	資産見返交付金	6,889	6,877	12
北九州高速道路	0	0	0	特別法上の引当金等	118,240	86,873	31,367
有形固定資産	2,599	2,653	54	道路事業損失補填引当金	32,313	29,751	2,562
その他	39	22	17	福岡高速道路	19,172	17,425	1,747
繰延資産	1,068	1,048	20	北九州高速道路	13,141	12,326	815
				償還準備金	85,927	57,122	28,805
				福岡高速道路	97,755	76,464	21,291
				北九州高速道路	11,828	19,342	7,514
				(負債合計)	981,890	954,818	27,072
				基本金	204,306	199,731	4,575
				剰余金	577	518	59
				(資本合計)	204,883	200,249	4,634
資 産 合 計	1,186,773	1,155,067	31,706	負 債・資 本 合 計	1,186,773	1,155,067	31,706

語句の説明

資産の部

流動資産

現金、預金及び未収金等

固定資産

事業資産

営業中の道路の建設価格

事業資産建設仮勘定

建設中の道路の建設価格

有形固定資産

建物構築物等の残存価格

繰延資産

調査費等の額

負債及び資本の部

流動負債

未払金等の債務額

固定負債

道路債券、政府借入金、団体からの

長期借入金等の負債額

特別法上の引当金

道路損失補填引当金

危険負担対応として料金収入の内より

充てる資金の累計額

償還準備金

営業中道路の建設に投下した資金

返済に充てる額の累計額

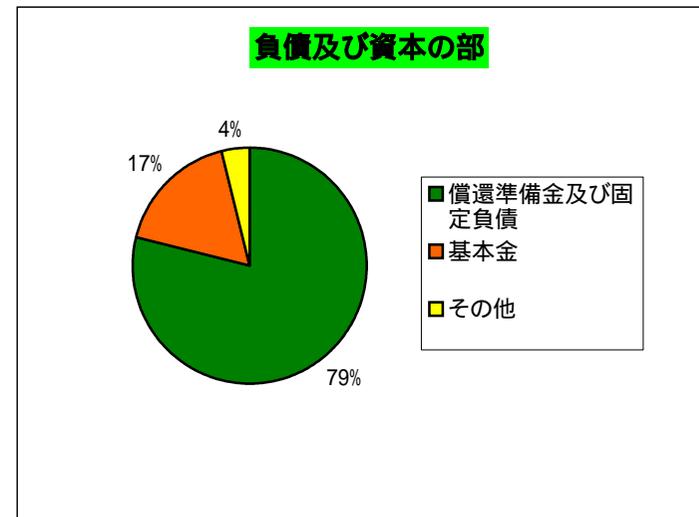
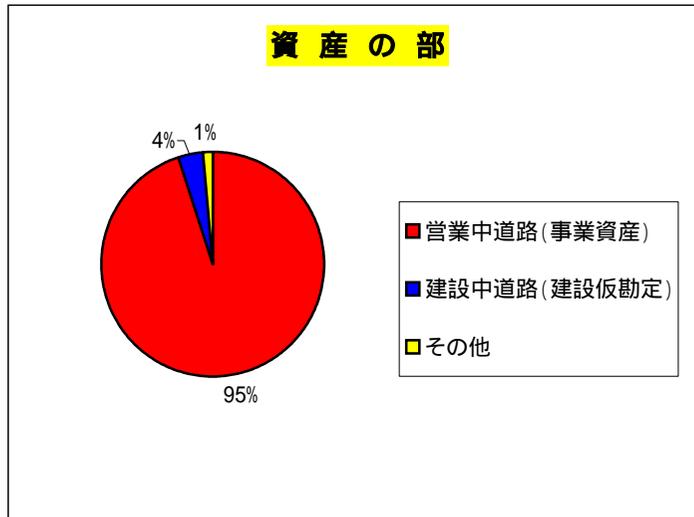
基本金

設立団体出資金累計額

剰余金

駐車場経営の利益金の累計額

貸借対照表 円グラフ



6. 償還準備金の積立状況

【福岡高速道路】

(単位:百万円)

	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A - B)	償還率 (B / A) × 100
H18	766,360	97,755	668,605	12.8%
H17	761,780	76,464	685,316	10.0%

【北九州高速道路】

(単位:百万円)

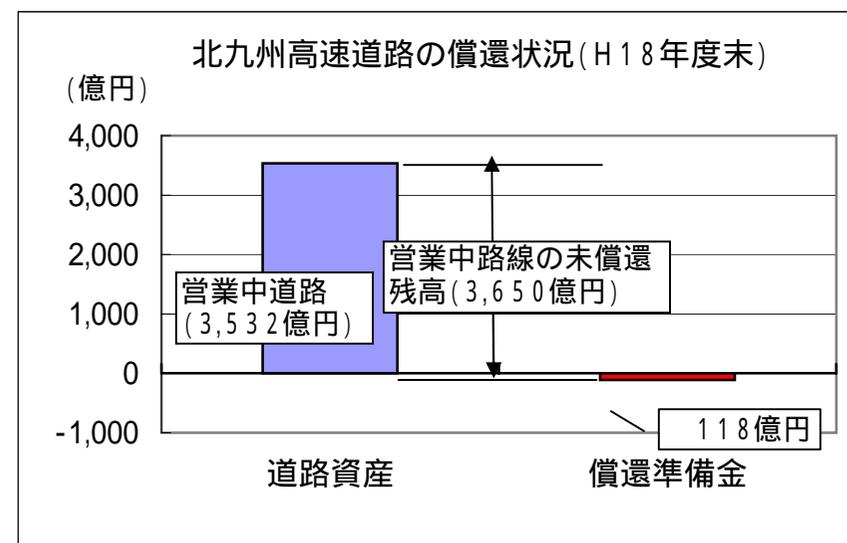
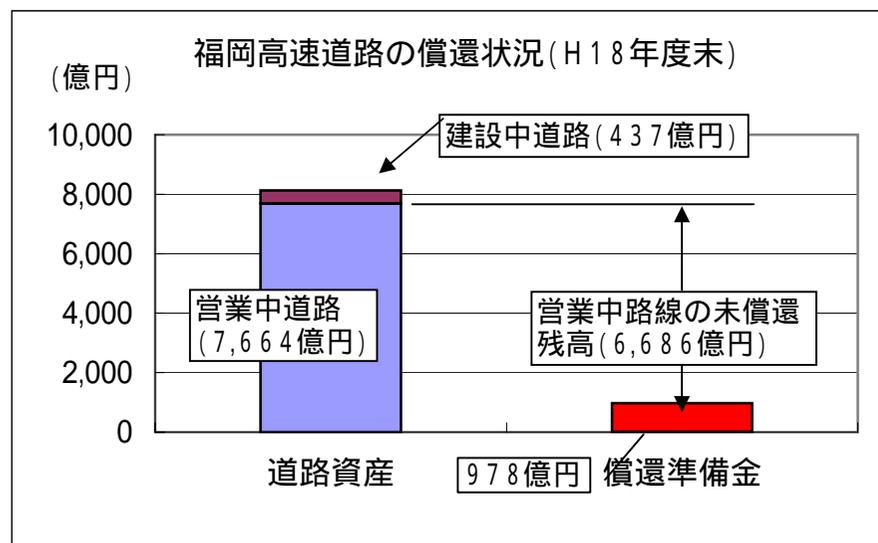
	営業中道路 (償還対象額) (A)	償還準備金 (B)	未償還残高 (A - B)	償還率 (B / A) × 100
H18	353,213	-11,828	365,041	-3.3%
H17	347,797	-19,342	367,139	-5.6%

「営業中道路(償還対象額)」とは、営業中道路の建設に投下した額の合計額(営業中道路の資産総額)から、償還を要しない資産見返交付金(補助金)を控除した額。

「償還準備金」とは、平成18年度末までの償還準備金繰入額の累計額。

「未償還残高」とは、営業中道路について今後償還準備金を積み立てて、返済をしていくことになる金額。

	営業中道路の 資産総額	資産見返 交付金	営業中道路 (償還対象額)	備考
福岡高速道路	768,673	2,313	766,360	この他に、工事中道路の資産総額(道路建設仮勘定): 43,667
北九州高速道路	357,789	4,576	353,213	



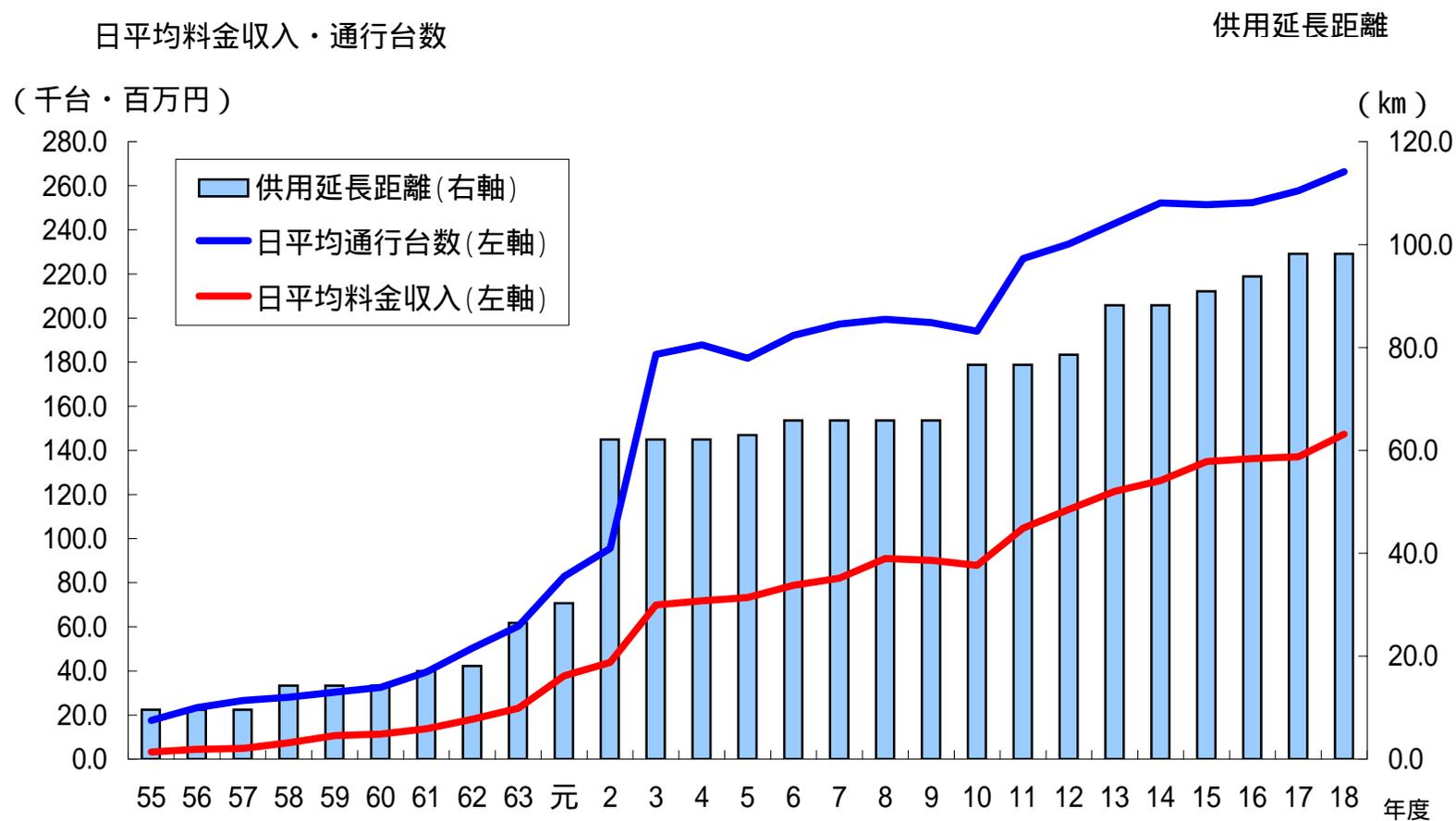
7 . 料金収入・通行台数・供用延長の推移

平成18年度

料金収入 539億円

日平均料金収入 1.5億円

日平均通行台数 27万台



供用延長距離	
平成19年3月末現在	98.2km
料 金	
福岡高速	
普通車	600円
大型車1,	2000円
北九州高速	
普通車	500円
大型車1,	000円

8 . 供用実績

〔福岡高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)	
		区間	累計		大型車	普通車
一次供用	S55.10.20	5.9	5.9	香椎～東浜	400	200
	S57. 3.27	-	5.9	貝塚入口		
	S58. 6.30	-	5.9	貝塚出口		
二次供用	S58.10. 6	1.5	7.4	東浜～築港	700	350
三次供用	S61. 4.23	0.8	8.2	千鳥橋 J C T ～呉服町		
四次供用	S62.11. 6	1.0	9.2	築港～天神北	800	400
五次供用	S63.10.31	2.1	11.3	天神北～西公園		
				千鳥橋 J C T (渡り線)		
六次供用	H 1. 3. 4	5.2	16.5	西公園～百道	1,000	500
				呉服町～榎田		
				豊 J C T ～空港通		
	H 1.10. 1	-	16.5	料金改定	1,030	510
	H 2.12.25	-	16.5	名島本線料金所拡幅		
	H 3. 3.21	-	16.5	東浜西出口		
H 4. 4.23	-	16.5	名島出入口			
H 4. 7. 1	-	16.5	東浜西入口			
七次供用	H 5. 4. 2	0.9	17.4	香椎東～香椎	1,030	510
八次供用	H 6. 4. 4	2.8	20.2	榎田～月隈北		
	H 9. 6. 1	-	20.2	料金改定 (回数通行券料金)		
九次供用	H11. 3.27	10.8	31.0	月隈～水城	1,100	550
				貝塚 J C T ～粕屋		
	H12. 3.28	-	31.0	料金改定・貝塚入口	1,100	550
十次供用	H12.11.21	0.5	31.5	貝塚 J C T (渡り線)		
十一次供用	H13.10.13	5.3	36.8	百道～福重		
十二次供用	H14. 3.10	1.9	38.7	粕屋～福岡 I C	1,200	600
	H15. 5. 1	-	38.7	料金改定		
十三次供用	H15. 5. 1	2.7	41.4	月隈 J C T ～板付		
十四次供用	H16. 6.27	2.9	44.3	西月隈出入口・板付～野多目	1,200	600
十五次供用	H18.3.26	4.4	48.7	野多目～堤		

(注) 料金改定日は、一次供用を除き供用年月日の翌日。但し、料金改定のみの場合は同日。

〔北九州高速道路〕

供用区分	供用年月日 料金改定日	供用延長 (km)		供用区間	料 金 (円)							
		区間	累計		大型車	普通車						
一次供用	S55.10.20	3.7	3.7	日明～篠崎北	300	150						
二次供用	S58.10.6	3.2	6.9	篠崎北～若園 東港出入口	700	350						
	S59.4.21	-	6.9	篠崎南出口								
三次供用	S61.12.2	2.0	8.9	若園～横代 篠崎南入口								
				四次供用			S63.12.17	1.1	10.0	愛宕JCT～下到津		
五次供用	H1.8.30	2.8	12.8	日明～戸畑	720	360						
六次供用	H2.3.31	1.0	13.8	戸畑～若戸 東港JCT～小倉駅北 西港出口 東港出入口廃止								
				七次供用			H3.3.31	31.8	45.6	春日～馬場山 一部区間料金(4号線)	300	150
											400	200
500	250											
600	300											
	H5.4.1	-	45.6	料金改定	720	360						
	H7.9.30	-	45.6	山路出入口	900	450						
	H9.6.1	-	45.6	料金改定(回数通行券料金)								
八次供用	H12.7.26	1.5	47.1	長野～横代	1,000	500						
	H12.11.1	-	47.1	料金改定								
九次供用	H13.7.2	2.4	49.5	枝光出入口～大谷出入口 大谷JCT								
十次供用	H18.2.26	-	49.5	小倉東IC接続								
備 考	九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛出口を新設(H17.3.31供用) 九州縦貫自動車道八幡ICと北九州高速との接続ランプに金剛入口を新設(H18.3.4供用)											

(注) 料金改定日は、一次、七次供用を除き供用年月日の翌日。但し、料金改定のみの場合は同日。

9. 長期借入金の残高状況

(1) 平成18年度末借入金残高

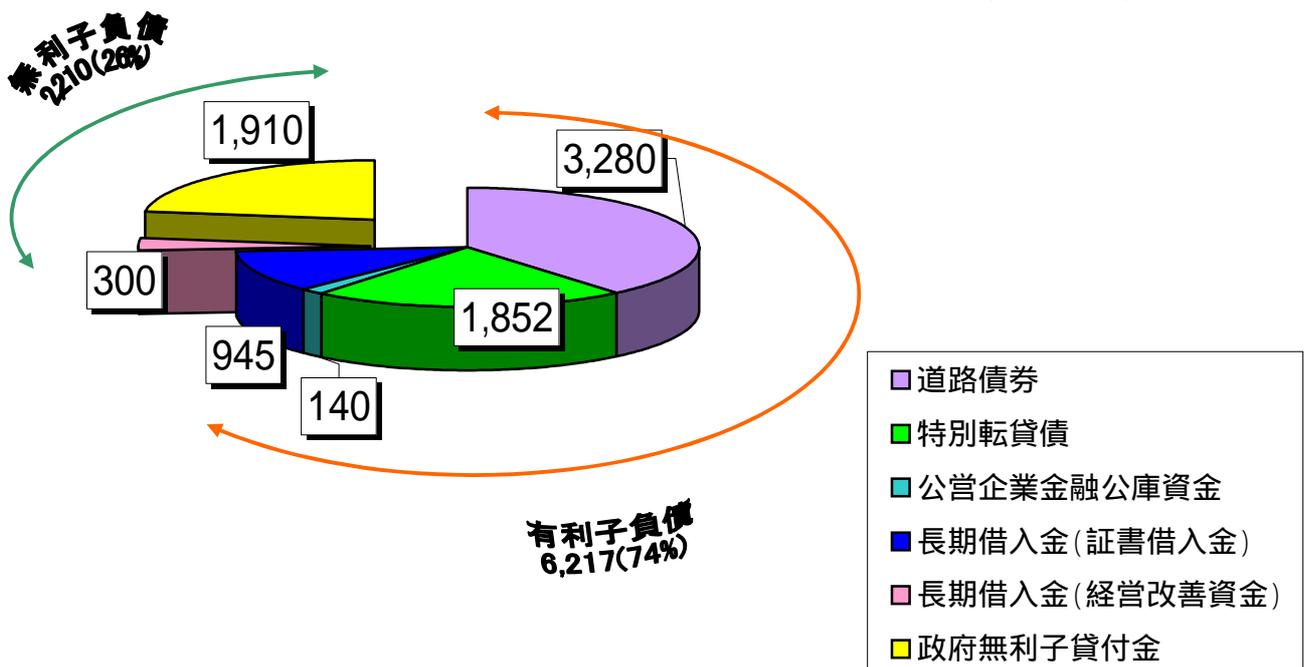
(単位:百万円)

	全 体			路線別内訳							
				福岡高速			北九州高速				
	H18年度	H17年度	増減額	H18年度	H17年度	増減額	H18年度	H17年度	増減額		
	A	B	A - B	A	B	A - B	A	B	A - B		
設立団体出資金	204,306	199,731	4575	150,567	147,382	3185	53,739	52,349	1390		
借入金	有利子	高速道路債券	328,019	316,337	11682	206,059	204,136	1923	121,960	112,201	9759
		証書借入	94,489	105,489	11,000	41,000	42,000	1,000	53,489	63,489	10,000
		特別転貸債	185,231	192,447	7,216	138,315	142,302	3,987	46,916	50,145	3,229
		公営企業金融公庫資金	13,992	13,449	543	11,352	10,964	388	2,639	2,485	154
	無利子	政府無利子貸付金	190,943	193,412	2,469	147,007	148,286	1,279	43,935	45,126	1,191
		経営改善資金	30,000	30,000	0	-	-	-	30,000	30,000	0
	計	842,674	851,134	8,460	543,733	547,688	3,955	298,939	303,446	4,507	
合計	1,046,980	1,050,865	3,885	694,300	695,070	770	352,678	355,794	3,116		

(注) 各項目において四捨五入しているため、計において合致しない場合があります。

平成18年度末借入金残高

(単位:億円)



10. 償還計画と実績の対比

福岡北九州高速道路の償還計画の達成状況を分かりやすく示すため、収入や費用、収支率や償還率等について実績(平成18年度決算)と計画の比較を行いました。

福岡、北九州、両高速の実績について、管理費の縮減努力等により、償還準備金繰入は計画を達成することができました。今後とも採算性を確保するため、利用促進とともに建設や管理の経費縮減に努めてまいります。

平成18年度

(単位:億円)

道路名	収入(a)	費用(b)				償還準備金繰入 (a - b)	収支率(%) $b/a \times 100$	償還準備金	事業資産	償還率(%)
		管理費	損失補填 引当金繰入	金利	合計					
合 計	541	105	26	123	253	288	47%	859	11,265	8%
	536	119	24	127	270	266	50%	834	11,214	7%
福岡高速	369	60	17	78	156	213	42%	978	7,687	13%
	363	68	16	82	166	197	46%	961	7,684	13%
北九州高速	172	44	8	44	97	75	56%	118	3,578	-3%
	173	51	8	46	104	69	60%	126	3,530	-4%

上段:実績
下段:償還計画

四捨五入の関係で計が合わないことがあります。

償還計画の対比方法

償還計画は、福岡は提供用及びETC導入に伴う料金認可(平成18年3月認可)、北九州は小倉東IC連結に伴う料金認可(平成18年1月認可)の値としました。実績(平成18年度決算)と対比するため償還計画を下記のとおり変換しました。

- ・収入は、現金主義から発生主義への変更に伴う増額分とETCマイレージ還元負担金収入を加算しました。
- ・管理費は償還計画表上の管理費から道路改良費を減し、ETCマイレージ還元負担金、ETCマイレージ引当金繰入、減価償却費、退職給与引当金繰入を加算しました。
また、納付(還付)消費税については、実績値に変換しました。
- ・償還準備金繰入は、収入から管理費、金利、損失補填引当金繰入を差引きました。
- ・償還準備金は、計画作成時の実績に各年度の償還準備金繰入を加算しました。
- ・事業資産は、計画作成時の実績に供用年度に供用した道路の建設費の累計を加算するとともに、各年度の管理費のうち改良費を加算しました。
- ・償還率は、償還準備金を事業資産から交付金を差引いたもので除しました。

損失補填引当金

損失補填引当金は、個々の道路で将来事情の不可測性等により償還計画満了時に借入金等が残った場合に備えて、その補填に当てるため料金収入の一部を積み立てているもので、道路整備特別措置法に定められています。

すなわち損失補填金は、決算では費用として扱っていますが、将来のリスクに備え、公社の経営の安定を図る内部保留金としての性格を持っており、その残高は借入金の返済余裕を表しています。

損失補填金の残高は平成18年度末で324億円であり、毎年増加しています。